



学校だより



2学期がスタートして、2週間が過ぎました。学校にいるときには、できるだけ全クラスの様子を見て回るようにしているのですが、どのクラス(なかよし学級も含めて)も担任の先生と一緒に学習に向かう姿が見られて、とても喜んでます。長い休みのあと、2日続けての臨休と学校生活のリズムを思い出しにくい状況だったと思いますが、元気に登校し、笑顔で過ごせている子供たちの様子に元気をもらっています。

しかしながら、夏休み明けのこの時期は、全国的に不安や悩みを抱える子供たちが増加する傾向が見られます(児童生徒の自殺者も増加傾向にあります)。子供たち同士で助け合ったり支え合ったりしながら成長していくことは大変素晴らしいことですが、限界があります。子供たちには、普段から困ったときに「教えて」「助けて」「手伝って」と遠慮なく言える力や、周りとの良い関係を築く力を身に付けてほしいと思っておりますが、簡単なことではありません。そんな時に周りにいる保護者や学校関係者、地域の大人が、子供たちが出している困り感やサインに気づけるような上峰町であればと思います。

今年も8月末に文部科学省大臣から子供たちと周りの大人に向けたメッセージが出されましたので、先週各家庭に配布し、学校ホームページにも掲載しました。もし、家庭や地域で、子供たちの気になる変化やサインを見つけたときは、学校にお知らせやご相談をしてください。



メッセージ→→→

安心して安全に登校するために

上峰小の子供たちは、上級生のリーダーを先頭にして、元気なあいさつをしながら毎朝、登校班で学校に来ています。朝の集合や登校の

途中の様子を見ることはないのですが、リーダーになった子供の苦労は計り知れません。困ったことがあれば、担任や地区担当の先生に相談するようにしています。また、月に1度は登校班長会を開いて、担当の先生がリーダーを労ったり励ましたりすると同時に、班長から報告された「いいね👍」を給食の時に放送しています。

集団登校の一番の目的は、安全に登校することです。子供たちは毎日の登校で「危険を予測する力」や「危険を回避する力」を身につけてきます。学校では、その他にも「人に合わせる力」や「がまんする力」を身につけることができると考えています。「集合時間を守るように」「人を待たせないように」と努めたり頑張ったりすることは、とても大切なことです。相手のことを考えて準備する毎朝の小さな行動の積み重ねは、子供たちの心の成長の大きな下支えになっていると思います。



まだまだ続く暑さ

朝夕は幾分涼しい風が吹き、虫の声も聞こえてきて、小さい秋を感じます。切通しの古賀歯科さんの裏の土手には、彼岸花が咲きだしていました。とはいえ、日中の暑さは相変わらずです。昼休みの外遊びの時間は、ほぼ毎日短くなってしまっています🥵🥵🥵🥵🥵



学校では、活動時間を制限するほかに、試しにミストシャワーを使ってみることにしました。手洗い場の近くに設置して、細かい霧(ミスト)を出すようにしています。外遊びの休憩の際に利用している子供たちには好評です。各家庭からも気象情報に応じて、多めの水分の準備や帽子の準備などのサポートをお願いします。

右のQRコードから学校ホームページを見ることができます。
「今日の給食」コーナーの「一言メモ」がおすすめです。→→

